

最上位目標 「子どもの Well-being の実現」

学校教育目標 「心豊かに、自他を高め、章を成す」

～変化に向き合い、信頼される優しさを持ち、社会に貢献する～



SEISHO PRESS

Trying for your dreams

佐賀市立成章中学校

学校だより 第11号

令和8年10月7日

文責 校長 馬郡直樹

10月
全校朝会

「伝統」と「歴史」の違いは？

10月6日（火）に全校朝会を開催しました。今回から朝会前に「校長が読んだ図書館の本」の紹介をしています。今回紹介した本は、佐賀ブルーナース ヘッドコーチ宮永雄太さんが書かれた「B.LEAGUE 新時代のリーダー論」です。崩れかけていた組織をどのように立て直したか、人と地域を巻き込みながら強いチームへ導いたかなどの内容が書かれています。興味のある人は一度手に取ってほしいと思います。

また、校長の話では、成章中は今年度で創立 80 周年を迎えているため、「歴史」と「伝統」について話をしました。以下内容の要約です。

「歴史」と「伝統」という言葉の違いを意識したことはあるか。「歴史」とは、積み重なった「事実のバトン」のことであり、過去から現在まで、誰が何をしてきたかという事実や出来事のこと。

私たちの成章中学校は、昭和 22 年（1947 年）に「佐賀市立第一中学校」として誕生した。昭和 10 年、地域の方々の「子どもたちに素晴らしい教育を受けさせたい」という強い思いで、立派な木造校舎が建てられた。この土地には、それほど多くの地域の方々の期待と、先輩たちの歴史が刻まれている。

伝統とは、受け継がれた「心のバトン」であり、例えば授業や行事にかける情熱、さわやかな挨拶や響く歌声など先輩から後輩へ脈々と受け継がれてきたもののこと。

成章中学校の校名にある「斐然成章（ひぜんせいしょう）」という言葉は、論語に由来し、「一人一人が持つ美しい素質を、立派に開花させる」という意味があり、「章」は見事な布を織り上げる様子にたとえられる。一枚の見事な布を学校生活や人生に例えれば、まっすぐに伸びる「縦糸」は、自分自身の個性や「頑張りたい」という思いである。そして、そこに交わる「横糸」は、友人や仲間の存在。「章」とは、お互いに声をかけ合い、支え合い、そして切磋琢磨するつながりのことでもある。

自分という縦糸と、仲間という横糸。生徒同士が互いを認め合い、温かく紡ぎ合っていくこと。これこそが、80 年間先輩たちが大切にし、磨き続けてきた「成章中の伝統」である。

これからの「伝統」を創るのは、今を生きる君たちである。君たちが主体的に取り組み、仲間と縦糸と横糸を紡ぎ合わせるように流す汗や笑顔、その一步一步が、新しい成章中学校の伝統の 1 ページになる。先輩たちの「心のバトン」をしっかりと受け継ぎ、皆さんが主役となって、誰も見たことのない素晴らしい「新しい成章中」を織りなしていこう。

温かい学校づくりに向けて ～保護者の皆様とともに～

日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。現在、本校では全ての保護者の方々と良好な信頼関係を築くことができ、大変心強く感じております。

近年、社会全体で働く人の人権を守る取組（ハラスメント対策）が進められており、本校でも 10 月からカスタマーハラスメントへの対応方針を講じることとなりました。これは教育現場だけでなく、子どもたちが将来社会に出ていく上でも、互いの立場を尊重し合う大切さを学ぶ機会として重要な視点です。

教職員が安心して子どもたちと向き合える環境を守ることは、より質の高い教育活動に直結します。本校では今後も丁寧な対話を大切に、組織として誠実に対応してまいります。ともに子どもたちを育てる大切なパートナーとして、引き続き温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

⇒早稲田大学中学生向け出前講座開催⇒

9月25日（金）、2年3組生徒対象に早稲田大学の箸本健二教授他3名に來校していただき、「佐賀の近未来を統計と地図から考えよう」というテーマで出前授業をしていただきました。この出前講座は、佐賀市教育委員会と早稲田大学の連携事業である早稲田・佐賀21世紀プロジェクトの一つとして開催されており、今年度は成章中学校で開催されました。

画像は配布した通信で御確認ください。

講座のねらいは、統計と地図から地域の未来像を議論することです。そのために「MANDARA」という地図ソフトを使いながら、県内20市町ごとの人口や産業に関する数値が一目でわかる地図を生徒一人一人が作成していきました。自分で作成した地図の数値を読み取っていきながら、生徒が仮説を立てて検証していく流れでした。

箸本先生や佐賀市教育委員会の先生からは「成章中学校の生徒さんには、授業に大変熱心に取り組んでいただき、とりわけPCへの慣熟度の高さに驚きました。難しい内容にも負けず最後まであきらめず、生徒全員が頑張っている姿を見ることができ大変うれしく思いました。」とお褒めの言葉をいただきました。この教材は実際に早稲田大学の講義で使用されているものを中学生用にアレンジされたものでしたので、難しかったと思いますが、未来について考えることができたと思います。

生徒の感想については、「少子高齢化で佐賀県や日本が住みにくい街になってしまわないように今後も学習していきたいと思いました。」「近未来の佐賀、日本は人口が減っていくので、人を集める取り組みが大事だとわかりました。」「大学の先生の授業を受けるのは初めてだったので、中学校の先生とは違う教え方や考え方があっていつもとは少し違った授業で楽しかった。」「地図を使うことで物事を視覚的に捉えることができると学びました。私もMANDARAの地図を使って調べてみたいなと思いました。」でした。

佐賀市
駅伝大会

これぞチーム一丸。全員でつかんだ県大会！

10月2日（金）に佐賀市中学校駅伝競技大会が開催されました。この大会は、男子63回、女子42回と歴史のある大会であり、今年度からコースを東与賀公園周辺コースからSAGAサンライズパークに移して開催されました。

大会前日に激励式をオンラインで行いました。選手代表のMさんが「昨年度は4位で県大会に出場しましたが、今年度は3チームしか県大会に出場できません。一人一人が最後まで全力で走り切りますので、応援よろしくお願いします。」と力強く決意表明を行いました。保体委員会の取組として、駅伝大会に出場する選手を応援するために校内には激励の寄せ書きが張られています。このような全生徒が応援するいい雰囲気の中で選手は大会に臨みました。

成章中学校からは、男子1チームが参加し、陸上競技部長距離を中心に、軟式野球部からの助っ人1人でチームを編成し、6区間で選手・リザーブ全員の力を結集し、ゴールまでタスキをつなぎました。結果は目標どおり3位に入賞。見事、11月6日（金）にふくどみマイランド周辺コースで開催される県大会の出場権を獲得しました。

画像は配布した通信で御確認ください。

県大会でもチーム一丸となって悔いのない走りをしてほしいと思います。 **3位入賞を果たした6人の選手**